



学校だより～ミカ一心～

平岩小中学校
学校通信No.4
H30.7.4

■ 9年最後の中体連

6月9日～12日に中体連の地区大会が開催されました。9年生にとっては、最後の大會でした。どの種目も、子どもたちは、精一杯力を発揮していました。少しずつながらも力をつけてきてているのはよくわかりました。9年生がその地盤を作ってくれたのだと思います。感謝です。

県大会に出場することになったのは、次の子どもたちです。応援をよろしくお願ひいたします。

【男子柔道】

7月25日（水）

KIRISHIMA ツワブキ武道館

男子90kg級 9年 村田螢心

【女子ソフトテニス部】

7月23日（月）・24日（火）

KIRISHIMA ヤマザクラ県総合運動公庭球場

個人の部 9年 赤木桜菜・大堀ちひろペア

■ 命を考える

生徒指導だよりも、掲載されていましたが、6月22日に「命の教室」を開催しました。

みやざき被害者支援センターにお願いして、6年～9年（5年は諸塙村民泊のため不参加）の児童生徒を対象に実施しました。

講師は、笹森義幸さんでした。この方は国富町の方で、長男郁也さん（当時八代中1年）を交通事故で亡くされています。部活動帰りに、友達と二人で、自転車を押して坂道の右側を歩いていた郁也君に、スピードを出しすぎて曲がり切れなかった車がぶつかってきました。救急車で病院に運ばれましたが、病院先で息を引き取られたそうです。

児童生徒も私たち職員も、涙を流しながらお話を聞かせていただきました。

「私たち家族にとって、何年たっても何も終わっていない。ただ、こうやってお話しすることは私のもう一つの仕事だと思っています。郁也がそれを望んでいる。」そうおっしゃっていました。

心してハンドルを握ろうと思いました。

■ 心のこもった挨拶

本年度、取り組んでいることの一つに「心のこもった挨拶」があります。

社会を生きていく上で、まず必要なことは気持ちのよい挨拶だと思っています。コミュニケーションのスタートだからです。

これまで比較的平岩の子どもたちは挨拶がいいと言われていましたが、今は、さらに良くなってきてていると思います。

私が廊下ですれ違うと、自分たちから先に挨拶します。見ていると、来客にもしっかり挨拶しています。特に中学部の子どもたちが手本を見せていました。やらされ感がなくてとても気持ちいいです。意欲が感じられる挨拶です。

朝の交差点では、きちんと止まって「おはようございます。」と挨拶してくれる子どももいます。「慌ただしい朝なのに、自分のために有難う。」という気持ちになります。敬意が感じられる挨拶です。

また、しっかり目を見て、笑顔で「おはようございます。」と言ってくれる子どももいます。「自分を認識してくれているんだなあ。」という気持ちになります。親近感を感じられる挨拶です。

どれも心のこもった挨拶で素敵です。

■ 朝の挨拶運動

そんな挨拶に対する意識を高めているのは、生徒会やソフトテニス部、小学部の子どもたちが、毎朝行っているボランティアの挨拶運動です。

正門前には中学部の子どもたちが、玄関前では小学部の子どもたちが、登校してくる子供たちに、「おはようございます。」と大きな声をかけてくれています。

声を出せば、心が開きます。心が開けば、意欲が高まります。

今は、小学部の先輩たちに混ざって、1年生の数人も挨拶運動に参加しています。



|